

DLCOS-8200 型水位計データ回収手順

株式会社オサシ・テクノス

1. 記録器の蓋を開け、【LOWBATT】ランプが点灯していないことを確認します。
もしランプが点灯していたら、バッテリーの電圧が下がっており記録が途中で止まっています。また、バッテリーが完全放電している恐れがありますので他のバッテリーと混在しないように気をつけて下さい。完全放電したバッテリーは再充電を行っても復帰しない時があり、そのような場合はバッテリーチェッカー等で点検をしてください。
2. 【START】スイッチを OFF にし、次に【MAIN】スイッチを OFF にします。
3. メモリーカード挿入口より記録済みのカードを取り出します。この際に交換用カードと混在しないようご注意ください。
4. 必要であれば、バッテリーを交換します。
(バッテリーを交換する際の注意点)
 - ・バッテリーを交換する場合はメモリーカードも必ず交換してください。
メモリーカードを交換せずにバッテリーだけを交換すると、メモリーカードの記録データは初期化され、全て消失しますのでご注意ください。
 - ・バッテリーを先に交換すると電源が OFF / ON され、メモリーカードのデータが初期化されてしまう恐れがあります。バッテリーを交換する際は、必ずメモリーカードを先に取り出してから作業をして下さい。
 - ・バッテリーとバッテリーコードを繋いだ状態で記録器側のバッテリーコード端子を外すとショートする恐れがあり、**大変危険**です。記録器側のバッテリーコード端子を外す際は、必ず先にバッテリー側のバッテリーコード端子を外して下さい。
 - ・バッテリー交換の目安は最低で3ヶ月に一度ですが、電圧が低下する前に充電を行うとバッテリー自体の寿命が延びますので、こまめに交換・充電する事をお奨めいたします。尚、バッテリーは完全放電するとその後充電しても元には戻らず使用不可能になる場合が多いのでご注意下さい。
5. 交換用メモリーカードを挿入口の奥まで確実に挿入します。
この際に記録済みメモリーカードと交換用メモリーカードを間違わないように注意してください。
6. 【MAIN】スイッチを ON にし、次に【START】スイッチを ON にします。
サンプリングの時間が20分の場合は、処理の都合上、毎0・20・40分になった時に【START】スイッチを ON にして下さい。DLCOS-8200 型水位計は時計が内蔵されておりません。必ず、記録を開始した日時をメモして下さい。
7. 【TEST】スイッチが OFF になっていることを確認してください。
【TEST】スイッチが ON 状態のまま放置すると数時間でバッテリーが消耗し、欠測の原因となります。必ず OFF になっていることを確認して下さい。
8. バッテリー及び記録器の全ての端子がきちんと接続され、ゆるみのないことを確認して、蓋を閉めてください。